

次世代環境車社会実験事業

自治体情報

静岡県浜松市

人口 / 792,173人

標準財政規模 / 174,486百万円

担当課 産業部 産業振興課

電話番号 直通 053-457-2044

実施主体 はままつ次世代環境車社会実験協議会（構成団体：15）スズキ㈱、ヤマハ発動機㈱、フォルクスワーゲン、中部電力㈱、遠州鉄道㈱、ソフトバンクモバイル㈱、ASTI ㈱、株式会社エヌエスティー、浜松商工会議所、静岡県地域テクノポリス推進機構、静岡大学、静岡理科大学、静岡文化芸術大学、浜松市、静岡県（事務局：浜松市）

関連ホームページ

事業期間 平成22年度から平成24年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：3,500千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	3,500

施策のポイント

実車両の走行実験による情報収集や分析、地域企業との連携による共同研究開発や充電施設等のインフラ整備などに取り組み、次世代環境車への対応による「産業振興による地域イノベーション」、「低炭素社会の促進」の具現化を目指す。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

本地域には、次世代環境車の技術等を担う企業や大学が集積しており、これらの協力を得て「はままつ次世代環境車社会実験協議会」を設立し、次世代環境車の実用化に向けた実証実験を行っている。

2. 取組の具体的内容

- (1) 実車両の走行による各種情報収集や分析
- (2) 地域企業との連携による共同研究開発
- (3) 充電施設等のインフラ整備など

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

地域企業との連携による共同研究開発（車両用としてメーカーへの提案等）

4. 現在までの実績・成果

(1) 走行実験

公用車・営業車として、電気自動車・電動バイクの社会実証実験を実施した。実証実験で得られた車両の使われ方、課題、アンケート結果、車両データ、解析結果をもとに、今後の次世代環境車の開発計画や設計等に活用していく。

(2) 部品開発

地域企業から募集した次世代環境車関連の部品に対する提案の中から、開発・試作を行う地場企業を決定し、試作を実施した。

(3) インフラ整備

充電設備設置

充電設備一般開放

展示会等による一般ユーザーへのPR活動

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

実験に係る費用負担は、協議会メンバーにて負担することとし、実験内容に責任を持って実施するようにした。

6. 今後の課題と展開

実証実験第2期では、自然エネルギーを取り入れた実証実験に取り組む予定である。

実施内容については現在調整中。

(実証実験期間)

第1期実証実験期間：平成22年5月から平成23年8月

第2期実証実験期間：平成23年9月から平成24年8月